

## 戦略 2 次世代「やまなし」投資戦略

# 「山梨県総合計画」 政策別実施状況

戦略	2	次世代「やまなし」投資戦略
----	---	---------------

政策	1	一人ひとりの個性を生かした教育の推進	計画掲載施策数	13
<p><b>【政策の基本的な考え方】</b>          家庭の経済環境などによる教育格差を生じさせることなく、一人ひとりに向き合ったきめ細かで質の高い教育を実現するためには、教員の資質向上を図るとともに、教員がきちんと子どもと向き合うための時間を確保し、よりきめ細かな指導を行っていく必要があります。          このため、学校教育における教員の負担軽減や相談支援体制の強化とあわせて、公立の小中学校における少人数教育の計画的、段階的導入により、教育環境の充実を図り、一人ひとりに向き合った、きめ細かで質の高い教育を受けることができる環境の実現を図ります。          また、幼児期は成長の土台を作る貴重な時期であることから、小学校就学前から、本県の豊かな自然環境を生かした活動などを通じて、子どもたちの知的好奇心や感性を育む幼児教育の充実を図ります。</p>				
		項 目	頁	担当部局
令和3年度の主な取り組み状況		○ 知事と教育委員会の連携による教育行政の推進	P.45	県民生活部
		○ 25人を基本とする少人数教育の推進	P.45	教育委員会
		○ 学力向上に向けた取り組みの推進	P.45	教育委員会
		○ いじめ対策・不登校等支援のための体制整備	P.46	教育委員会
		○ 学校における働き方改革の推進	P.46	教育委員会
		○ ICTを活用した人材育成	P.47	教育委員会
		○ グローバル人材の育成	P.47	教育委員会
		○ 公立高等学校等の就学支援	P.48	教育委員会
		○ 魅力ある高校づくりの推進	P.48	教育委員会
		○ 一人ひとりに応じた特別支援教育の推進	P.48	教育委員会
		○ 私立学校の振興	P.49	県民生活部
		○ 自然保育の導入の促進	P.50	子育て支援局
		○ 次代のやまなしを支える人材の育成	P.50	県民生活部 外
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		23,571 百万円	
	前年度までの事業費		15,135 百万円	
	本年度の事業費		8,436 百万円	

成果指標	(成果指標に関連する) 施策名		(成果指標担当部局名)		
	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (現況年度) C	進捗率(%) $(\frac{C-A}{B-A} \times 100)$
成果指標の達成状況	2-1-3 学力向上に向けた取り組みの推進		(教育委員会)		
	「全国学力・学習状況調査」の全国平均正答数との比較割合	99.6% (H30)	100%超 (R 4)	98.7% (R 3)	△ 225.0
	2-1-4 いじめ対策・不登校等支援のための体制整備		(教育委員会)		
	いじめ解消率	小中学校 99.1% 高等学校 95.4% (H29)	小中学校 99.4% 高等学校 98.2% (R 4)	小中学校 98.6% 高等学校 96.1% (R 2)	小中学校 △ 166.7 高等学校 25.0
	2-1-5 学校における働き方改革の推進		(教育委員会)		
	月当たり正規の勤務時間を80時間以上超過する教育職員の割合	32.5% (H29)	0.0% (R 4)	25.7% (R 3)	20.9
	2-1-7 グローバル人材の育成		(教育委員会)		
	高等学校卒業段階でCEFR A2レベル相当以上を達成する生徒の割合	37.3% (H30)	49% (R 4)	48.9% (R 3)	99.1
	2-1-12 自然保育の導入の促進		(子育て支援局)		
	自然保育の活動量が増えた保育所等の数	—	100園 (H31比)	60園 (R 3)	60.0
	2-1-13 次代のやまなしを支える人材の育成		(県民生活部)		
	若手研究者への研究支援の人数	9名 (H30)	11名程度 (R 4)	11名 (R 3)	100.0

# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

<b>施 策 名</b> <b>【担当課名等】</b>	<b>予 算 科 目</b> (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	<b>施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果</b>
知事と教育委員会の連携による教育行政の推進  <b>【私学・科学振興課】</b> ①	———	知事と教育委員会が、本県の教育についてのあるべき姿を共有し、連携して取り組んだ。 これにより、一人ひとりに向き合ったきめ細かで質の高い教育行政の推進に寄与した。 ①総合教育会議の開催 <span style="float: right;">1回</span>
25人を基本とする少人数教育の推進  <b>【義務教育課】</b> ①②	教育指導費 ( 5,527) 3,001  ②	一層きめ細かで質の高い教育を実現するため、学校関係者等による検討を経て、計画的・段階的に25人を基本とする少人数教育の推進を図った。 これにより、令和4年4月から小2に25人学級を導入した。 ①25人学級導入校の校長・担任へのヒアリング及び児童への質問紙調査等の実施 ②25人学級導入の影響が及ばない市町村での先進的で特色ある教育活動への支援 <span style="float: right;">4町村</span>
学力向上に向けた取り組みの推進  <b>【義務教育課】</b> ①②③④⑤	教育指導費 ( 13,569) 10,320  ①②③④⑤	全国学力・学習状況調査等で得られた課題や成果を踏まえ、教員の授業力を高める取り組みや、家庭学習の確保及び地域連携の推進に努めた。 これにより、教育指導の充実が図られ、児童生徒の学力の向上につながった。 ①県内の中学校2年生を対象に山梨県学力把握調査を実施 ②1人1台端末で活用できる国語及び算数・数学の電子教材を作成・配布 ③ICT活用推進校における研究授業を動画配信し、県内の学校及び教職員に周知 ④指定校における「CAN-DOリストに基づく指導・評価」の研究を通じ、英語教育の授業改善を実施 ⑤児童生徒及び保護者が家庭学習の必要性を理解し、習慣化を推進するための資料を作成・配布



施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
ICTを活用した 人材育成  【教育企画室】 ①②③④ 【義務教育課】 ①② 【高校教育課】 ①②③④ 【特別支援教育・児童生徒支援課】 ①②③④ 【学校施設課】 ③	教育指導費 ( 996,085) 975,401 [ 16,415] ③  全日制高等学校管理費 ( 71,551) 71,060 ③	<p>Society 5.0時代を生きる力を育むため、国の動向を踏まえ山梨県ICT活用教育推進ビジョン（仮称）の策定に向け検討を行うとともに、ICT活用指導力を向上させるための教員研修やICT環境の整備を行った。</p> <p>これにより、ICTを活用した教育の進展や、新型コロナウイルス感染症の影響下におけるICT等を活用した子どもたちの学びの機会の保障に寄与した。</p> <p>①これまでの教育実践とICTを最適に組み合わせた教育の推進（学びの機会の保障にも対応した遠隔教育を含む）</p> <p>②ICT活用指導力向上のための教員研修の実施</p> <p>③県立学校のICT環境の整備</p> <p>④県立学校のBYOD*（Bring・Your・Own・Device）導入の検討</p>
グローバル人材の 育成  【高校教育課】 ①②③④	教育指導費 ( 5,887) 4,923 ④	<p>国際的に活躍できるグローバル人材を育成するために、小中学校と外国語教育や国際理解教育の連携を図り、学びを接続させるとともに、外国語によるコミュニケーション能力、幅広い教養、問題解決能力等の国際的素養、異文化理解の精神を県立高校生に身に付けさせる取り組みを推進した。</p> <p>これにより、県立高校生の国際バカロレア資格取得への道を開くとともに、外国語担当教員の指導力等向上に寄与した。</p> <p>①英語指導力向上に資する研修 3回</p> <p>②ALT指導力等向上に資する研修 令和3年10月</p> <p>③小中高外国語教育連携研修 令和3年8月</p> <p>④国際バカロレア*（IB）認定校 1校</p>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
公立高等学校等の 就学支援  【高校教育課】 ① 【特別支援教育・児童生徒支援課】 ① 【教育企画室】 ①	諸 費 ( 1,846,444) 1,817,429  ①	公立高等学校や特別支援学校に通う生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、就学に要する経費等に対して支援を行った。 これにより、生徒が安心して就学できる環境の整備が図られた。 ①就学支援金等による教育のための支援 就学支援金（学び直しを含む） 13,497 人 山梨県高等学校奨学給付金 1,353 人 低所得世帯への県立高等学校の入学料の減免 136 人 入学サポート事業による支援 405 人 特別支援教育就学奨励費補助 889 人 BYODに関する支援の検討
魅力ある高校づくりの推進  【高校教育課】 ② 【教育企画室】 ①	教 育 指 導 費 ( 519) 180  ②	外国籍生徒の受け入れや不登校生徒等の高校進学対策、地域における学校のあり方、コミュニティスクール制度の導入などについて検討を行い「山梨県立高等学校長期構想 2020」を推進した。 これにより、魅力ある高校づくりの推進に寄与した。 ①全国募集実施校 5 校 ②コミュニティスクール制度実施校 3 校
一人ひとりに応じた特別支援教育の推進  【特別支援教育・児童生徒支援課】 ①	———	児童生徒の障害の状態やニーズに応じて、その可能性を最大限に伸ばすことができる切れ目のない多様な学びの場を整備するため、「やまなし特別支援教育推進プラン 2020」に基づき取り組みを推進した。 これにより、一人ひとりに応じた特別支援教育の充実を図った。 ①「やまなし特別支援教育推進プラン 2020」の実現に向けた取り組みの推進

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果																												
私立学校の振興  【私学・科学振興課】 ①②③④⑤⑥⑦	私学振興費 ( 4,942,179) 4,916,238 ①②③④⑤⑥ ⑦	<p>特色ある教育を行う私立学校に対し、必要な支援を行うとともに、高等学校のほか、専修学校においても保護者等の経済的負担を軽減し、生徒等が安心して就学等できるよう支援した。</p> <p>これにより、私立学校の教育条件の維持向上・学校運営の安定化及び高等学校・専修学校の生徒等に係る教育の機会均等に寄与した。</p> <p>①私立学校の運営費への補助</p> <table border="0"> <tr> <td>小・中・高</td> <td>22校</td> </tr> <tr> <td>専修学校</td> <td>6校</td> </tr> <tr> <td>各種学校</td> <td>1校</td> </tr> </table> <p>②私立高等学校等が行う災害等特別な事由により生活が困窮した世帯への授業料の減免への補助</p> <table border="0"> <tr> <td>高等学校</td> <td>1校 1人</td> </tr> </table> <p>③私立学校が行う被災児童等の授業料等の減免への補助</p> <table border="0"> <tr> <td>高等学校</td> <td>1校 1人</td> </tr> </table> <p>④私立高等学校等就学支援金の交付</p> <table border="0"> <tr> <td>高等学校</td> <td>15校 7,607人</td> </tr> <tr> <td>専修学校</td> <td>1校 6人</td> </tr> </table> <p>⑤私立高等学校奨学給付金の交付</p> <table border="0"> <tr> <td>高等学校〔県内〕</td> <td>15校 474人</td> </tr> <tr> <td>〔県外〕</td> <td>32校 99人</td> </tr> <tr> <td>専修学校〔県内〕</td> <td>1校 4人</td> </tr> <tr> <td>〔県外〕</td> <td>1校 1人</td> </tr> </table> <p>⑥私立高等学校等学び直し支援金の交付</p> <table border="0"> <tr> <td>高等学校</td> <td>2校 4人</td> </tr> </table> <p>⑦私立高等学校入学準備サポート事業給付金の交付</p> <table border="0"> <tr> <td>高等学校〔県内〕</td> <td>12校 128人</td> </tr> <tr> <td>〔県外〕</td> <td>6校 8人</td> </tr> </table>	小・中・高	22校	専修学校	6校	各種学校	1校	高等学校	1校 1人	高等学校	1校 1人	高等学校	15校 7,607人	専修学校	1校 6人	高等学校〔県内〕	15校 474人	〔県外〕	32校 99人	専修学校〔県内〕	1校 4人	〔県外〕	1校 1人	高等学校	2校 4人	高等学校〔県内〕	12校 128人	〔県外〕	6校 8人
小・中・高	22校																													
専修学校	6校																													
各種学校	1校																													
高等学校	1校 1人																													
高等学校	1校 1人																													
高等学校	15校 7,607人																													
専修学校	1校 6人																													
高等学校〔県内〕	15校 474人																													
〔県外〕	32校 99人																													
専修学校〔県内〕	1校 4人																													
〔県外〕	1校 1人																													
高等学校	2校 4人																													
高等学校〔県内〕	12校 128人																													
〔県外〕	6校 8人																													

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
自然保育の導入の 促進  【子育て政策課】 ①②③④⑤	児童福祉総務費 ( 803,505 ) 253,601 [ 545,663 ] ①③④⑤	<p>自然保育の導入を推進するため、人材育成や普及啓発等を行った。</p> <p>また、愛宕山こどもの国を自然保育の拠点として活用できるよう、斜面地を活かした遊具の全面リニューアルや、工作体験室などの機能を備えた「管理・研修棟」などの整備に着手した。</p> <p>これにより、自然体験活動に対する保育・教育関係者の資質向上を図るとともに、自然の中で健康な身体と豊かな情操を育む拠点の整備を推進した。</p> <p>①自然保育導入推進アドバイザーの派遣 7 園 ②自然保育活動事例の県ホームページ掲載 15 園 ③自然保育活動表彰（知事表彰） 5 園 ④愛宕山こどもの国再整備工事の実施 ⑤愛宕山こどもの国管理研修棟他建設工事設計業務委託の実施</p>
次代のやまなしを支える人材の育成  【私学・科学振興課】 ① 【義務教育課】 ② 【高校教育課】 ②	企画総務費 ( 12,849 ) 12,675 ①  教育指導費 ( 311 ) 174 ②	<p>次代のやまなしを支える人材育成を図るため、「山梨県大村智人材育成基金」を活用し、中高生の優秀な研究等を表彰するとともに、若手研究者の研究環境の充実などに向けた取り組みを支援した。</p> <p>これにより、高度な知識・技術などをもつ若者や若手研究者の育成に寄与した。</p> <p>①若手研究者の研究活動に対する支援 11 人 ②大村智自然科学賞表彰 中学生 1 団体 (3 人) 高校生 1 団体 (4 人)</p>

# 「山梨県総合計画」政策別実施状況

戦略	2	次世代「やまなし」投資戦略
----	---	---------------

政策	2	産業を支える人材の育成・確保	計画掲載施策数	10
<p><b>【政策の基本的な考え方】</b>            産業構造が大きく変化する中で、求められる人材は大きく変化しており、それに対応した人材育成を図るとともに、若者の県外への流出を防ぎ、県内への定着を図るために、県内企業への就職を促していく必要があります。            このため、既存の産業人材育成のための教育機関等を十分に活用する中で、産業界との連携などにより、地域の産業に求められる技術等を習得する機会を提供し、地元で活躍する人材の育成を進めるとともに、山梨で働く魅力を周知し、県外ではなく県内で就職することや、U I ターンを促すこと、雇用シェア（在籍者出向制度）を推進することなどにより、必要な人材の確保を図ります。</p>				
		項 目	頁	担当部局
令和3年度の主な取り組み状況		○ キャリア教育の充実	P.53	教育委員会
		○ 産業人材の育成に向けた高校教育の充実	P.53	教育委員会
		○ 県立大学における県内産業界を支える人材育成	P.54	県民生活部
		○ 新卒者のU I ターン就職の促進	P.54	産業労働部
		○ 技術系人材の育成・確保	P.55	産業労働部
		○ デジタルトランスフォーメーション（DX）を支えるICT人材の確保・育成	P.55	知事政策局
		○ 農業の多様な担い手の確保・育成	P.56	農政部
		○ 林業の担い手の確保・育成	P.57	林政部
		○ 建設産業の担い手の確保・育成	P.57	県土整備部
		○ 雇用対策の推進	P.58	産業労働部
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		4,550 百万円	
	前年度までの事業費		3,163 百万円	
	本年度の事業費		1,387 百万円	

成果指標	(成果指標に関連する) 施策名		(成果指標担当部局名)		
	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$	
成果指標の達成状況	2-2-1 キャリア教育の充実		(教育委員会)		
	キャリア・パスポートを用い、将来の生き方・在り方等を考える活動を行っている県立高校の割合	0% (H30)	100% (R 4)	63.3% (R 3)	63.3
	2-2-2 産業人材の育成に向けた高校教育の充実		(教育委員会)		
	専攻科第1期卒業生の県内企業への就職率	—	100% (R 4)	95.5% (R 3)	95.5
	2-2-3 県立大学における県内産業界を支える人材育成		(県民生活部)		
	県立大学卒業生の県内就職率	50% (H30)	50%以上 (R 3)	46.5% (R 3)	93.0
	2-2-4 新卒者のU I ターン就職の促進		(産業労働部)		
	県出身学生等(新卒者)のUターン就職率	26.5% (H30)	30.0% (R 4)	27.1% (R 3)	17.1
	2-2-5 技術系人材の育成・確保		(産業労働部)		
	産業技術短期大学校、峡南高等技術専門学校、宝石美術専門学校の定員充足率	83.3% (H31)	88% (R 4)	71.4% (R 4)	△ 250.0
	2-2-6 デジタルトランスフォーメーション(DX)を支えるICT人材の確保・育成		(知事政策局)		
	本事業のインターンシップ受入企業数	10社 (H30)	15社 (R 4)	17社 (R 3)	140.0
	2-2-7 農業の多様な担い手の確保・育成		(農政部)		
	新規就農者数	303人/年 (H30)	340人/年 (R 4)	321人/年 (R 3)	48.6
	2-2-8 林業の担い手の確保・育成		(林政部)		
	林業への新規就業者数	41人/年 (H30)	50人/年 (R 4)	45人/年 (R 3)	44.4
	2-2-10 雇用対策の推進		(産業労働部)		
	雇用者に占める正規職員の割合	65.9% (H29)	67.2% (R 4)	—	—

# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
キャリア教育の充実 【高校教育課】 ①②	教育指導費 ( 13,500) 8,145 ①	自己を理解し自ら学ぼうとする力、郷土への理解を深め他者と協働し積極的に社会を形成する力、多様な課題に主体的に対応する力、具体的なビジョンに基づくキャリアプランニング能力を育成するため、体系的・系統的なキャリア教育の実施、キャリア・パスポートの活用等を推進した。 これにより、生徒のキャリア形成に寄与した。 ①体験型学習プログラムの実施 30校 135件 ②キャリア・パスポートを用い、将来の生き方・在り方等を考える活動を行っている県立高校の割合 63.3%
産業人材の育成に向けた高校教育の充実 【教育企画室】 ① 【高校教育課】 ②③④⑤	教育総務費 ( 720) 329 ① 教育指導費 ( 22,173) 18,522 ②③④⑤	地元就職する人材を育成するために、企業・大学等との橋渡しを行うコーディネーターを配置し、外部人材(企業・大学等)と学校が協力して、プログラムを開発・実践した。 また、機械電子産業界等との連携を強化し、工業系高校生の技術力を向上させることなどにより、生徒の地域産業の魅力に対する理解を深め、本県の産業発展のために活躍できる人材を輩出した。 さらに、ワイン産業の中核を担う人材を育成するため、産学官が連携した実践的な教育課程を実施した。 これにより、産業人材の育成に寄与した。 ①高等学校職業教育ビジョン推進事業 9校 12プログラム実施 ②甲府工業高校専攻科創造工学科 一期生 県内企業就職率 95.5% ③工業系高校生2、3年生の技能検定等国家資格取得の延べ人数割合 76.8% ④工業系高校生の就職内定率 100% (全日制) ⑤マイスター・ハイスクール*指定校 1校

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
県立大学における 県内産業界を支える 人材育成  <b>【私学・科学振興課】</b> ①②	———	<p>県立大学から観光産業などの県内産業、福祉・教育・看護分野などへ優秀な人材を輩出するため、「社会の実践的な担い手や指導的な人材の育成」等を基本目標とする第三期中期目標を策定するとともに、県立大学においても地域の発展に貢献できる人材育成を他大学と連携して取り組んだ。</p> <p>これにより、県立大学生の県内産業等への関心を高めるとともに、県内産業界を支える人材の育成に寄与した。</p> <p>①県立大学卒業生の県内就職率 46.5%</p> <p>②第三期中期目標の策定 令和3年12月</p>
新卒者のU I ターン 就職の促進  <b>【労政雇用課】</b> ①②③④	雇 用 対 策 費 ( 19,599) 14,868 ①②③④	<p>県内の産業活動を支える人材を確保するため、やまなし暮らし支援センターにおいて就職支援を行うとともに、県内企業や学校等との連携により、U I ターン就職につなげる機会の拡大を図った。</p> <p>また、インターンシップの相談窓口において、県内企業へのインターンシップのマッチングを支援し、県内外の大学生等の県内就職を促進した。</p> <p>これにより、定住人口の確保及び県内企業が必要とする人材の確保に寄与した。</p> <p>①やまなし暮らし支援センターにおける就職相談件数 1,666 件</p> <p>②U I ターン就職促進協定校と連携した座談会の開催 2回 参加学生 47人</p> <p>③インターンシップ相談窓口における相談者数 81人 うちインターンシップ参加者数 延べ83人</p> <p>④オンライン合同就職説明会等の開催 2回 企業延べ194社、求職者202人</p>

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
技術系人材の育成・確保  【産業人材育成課】 ①②③④ 【産業振興課】 ⑤	職業能力開発振興費 ( 13,055) 12,471 ①②  職業能力開発総務費 ( 12,058) 8,275 ③  宝石美術専門学校費 ( 65,006) 60,867 ⑤	本県産業を支える技術系人材を育成・確保するため、産学官が連携して策定するアクションプランや産業技術短期大学校及び峡南高等技術専門学校における人材育成プランに基づく取り組みの推進を図るとともに、宝石美術専門学校における人材育成の充実、機械電子産業関連企業に就職する大学生等の奨学金の返還や産業技術短期大学校等への就学を支援した。 これにより、技術系人材の育成を推進し、本県産業への人材供給に寄与した。 ①産学官連携人材確保・育成推進会議の開催 令和3年9月 ②県内機械電子産業就職者への奨学金返還支援 認定者18人 ③産業技術短期大学校等の学生への就学給付金支給 19人 ④産業技術短期大学校等の入学料減免適用人数 11人 ⑤学校運営連絡会議・学校関係者評価委員会の開催 (宝石美術専門学校) 3回
デジタルトランスフォーメーション(DX)を支えるICT人材の確保・育成  【DX推進グループ】 ①②	情報管理費 ( 591) 590 ①②	インターンシップ等の実施により県内ICT企業の魅力を伝える機会を提供するなど、産学官が連携してICT人材の育成に取り組んだ。 これにより、県内大学等に在学する学生の県内就職の促進に寄与した。 ①インターンシップの実施 参加学生61人 受入企業17社 ②企業ガイダンスの開催 参加学生80人 参加企業18社

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
農業の多様な担い手の確保・育成  【担い手・農地対策課】 ①②③④⑤⑥⑦⑧ 【畜産課】 ② 【耕地課】 ⑨	農業改良普及費 ( 184,200) 171,180 ①②③④⑤⑥ ⑦⑧  土地改良費 ( 1,708,337) 835,763 [ 809,493] ⑨	<p>親元就農者を含む多様な担い手を確保・育成するため、効率的な民間サイトを活用した魅力発信や県内外での就農相談会等の開催、就農希望者への技術習得研修の実施、更に基盤及び施設整備支援等による企業の農業参入等に取り組んだ。</p> <p>これにより、県内外の就農希望者に対し、農業に取り組むイメージを描くことや栽培技術の習得が図られた。</p> <p>また、親元就農者の就農促進や企業には要望に合った農地の大区画化による農業参入が促進され、農業の多様な担い手の確保・育成に寄与した。</p> <p>①就農支援マネージャー設置 2人            ②就農相談会開催 合計11回            (内訳：県内3回 県外1回 オンライン7回)            ③農業次世代人材投資資金の交付            準備型 14人            経営開始型 91人            ④やまなしあぐりゼミナールによる研修者 19人            ⑤就農情報発信            ホームページの設置            オンラインイベントの開催3回参加者延べ140人            ⑥親元就農者経営安定支援事業による補助金交付 11人            ⑦参入企業数 10社            ⑧ワーケーション向け農業体験メニュー開発支援 2市            ⑨企業の農業参入に向けた基盤整備            穴山地区 外10地区</p>

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
林業の担い手の確保・育成  【森林整備課】 ④ 【林業振興課】 ①②③	緑のふるさと推進事業費 ( 2,160) 1,277 ④ 林業振興指導費 ( 58,550) 57,375 ①②③	林業経営の効率化と適正な森林の管理を一体的に促進するため、経営セミナーの開催などにより意欲と能力のある林業経営体を育成するとともに、技術研修会の開催や県立農業大学校に林業に関する学科を設置することなどにより、高度な知識と技術を身に付けた林業の担い手の確保・育成に取り組んだ。 また、次代を担う子どもたちが森林の役割や木の魅力等に関する理解を深めるため、森林体験活動や木育に取り組む教育機関等への支援を行った。 これにより、林業の担い手の確保・育成や子どもたちの森林・林業に関する理解促進に寄与した。 ①新規就業者の確保 新規就業者数 45人 森林林業体験ツアーの開催 2回 インターンシップの実施 参加者 14人 ②林業経営体の育成 現場管理責任者育成研修の実施 11日間 経営セミナーの開催 2回 意欲と能力のある林業経営体の認定 1件 ③林業の担い手育成機関整備 農林大学校森林学科施設・実習機材等の整備 農林大学校森林学科受験者 12人 ④森林体験活動や木育の取り組みへの支援 10教育機関
建設産業の担い手の確保・育成  【建設業対策室】 ①②③④⑤⑥ 【技術管理課】 ⑦⑧	建設業指導監督費 ( 3,898) 1,856 ①②③④⑤⑥ 土木総務費 ( 1,325) 840 ⑦⑧	「地域の守り手」としての役割が期待される建設産業の持続的な発展のため、建設業関係団体等と連携し、有識者等による会議や高校生の建設業への入職を促進する事業を実施した。 これにより、建設産業の担い手確保・育成や生産性向上等に寄与した。 ①建設産業担い手確保・育成産学官連携会議等の開催 6回 ②インターンシップの実施 参加者 95人 ③若手技術者等との意見交換会 参加者 210人 (4回) ④技術者等による出前講座・建設産業説明会 参加者 756人 (8回) ⑤就職・進学パンフレットの作成、配布 16,000部 ⑥新規入職者フォローアップ意見交換会 参加者 13人 ⑦ i-Construction* の推進会議の開催 2回 ⑧ ICT施工研修会等の実施 参加者 77人 (2回)

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
雇用対策の推進  【産業政策課】 ④ 【労政雇用課】 ①②③⑤⑥⑧ 【産業人材育成課】 ⑦	商工総務費 ( 10,981) 8,665  ④  雇用対策費 ( 39,410) 28,707 ①②③⑤⑥⑧  職業能力開発校費 ( 194,761) 156,931  ⑦	新型コロナウイルス感染症に起因する離職者、正規雇用を希望していながら不本意に非正規雇用で働いている方や無業の方への就職支援を行うとともに、県内企業や関係機関との連携により、本県の成長分野における良質で安定的な雇用の確保及び定着を図った。 これにより、求職者等の希望・適性に応じた就職や県内中小企業が必要とする人材の確保・定着に寄与した。 ①やまなし就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム会議の開催 令和3年12月 ②就職氷河期世代を正規雇用した事業主に対する助成金支給件数 21件 ③就職氷河期世代を自社内で正社員化した事業主に対する助成金支給件数 10件 ④やまなし地域活性化雇用創造プロジェクト実施による正社員雇用者数 111人 ⑤地域活性化雇用創造プロジェクト対象業種を中心とした合同就職面接会の開催 令和3年9月開催 企業122社、求職者116人参加 ⑥新型コロナウイルス感染症に起因する離職者を含む一般求職者を対象とした合同就職面接会の開催 令和3年4月開催 企業38社、求職者26人参加 ⑦離職者等に対する職業訓練の実施 53コース、受講者497人 ⑧在籍型出向の企業向けセミナー開催 令和3年11月 参加者19人

## 「山梨県総合計画」 政策別実施状況

戦略	2	次世代「やまなし」投資戦略
----	---	---------------

政策	3	文化芸術やスポーツの振興による可能性の発揮	計画掲載施策数	5
<p><b>【政策の基本的な考え方】</b></p> <p>子どもたちがこれからの時代を「生きる力」を育むためには、バランスのとれた知・徳・体の育成が必要です。また、生涯を通じて、文化芸術やスポーツにふれあい親しむ機会があることで人生が豊かになり、地域の活性化にもつながります。</p> <p>このため、学校教育での取り組みに加え、文化芸術基本条例に基づいた文化芸術振興策や、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機とした取り組みにより、文化芸術、スポーツの振興を推進し、自己の可能性を最大限に発揮して自分らしく豊かに暮らすための地域づくりの実現につなげます。</p>				
令和3年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局
	○ 文化芸術の総合的な振興		P.61	観 光 文 化 部
	○ 文化財の次世代への継承とまちづくりや地域振興への活用		P.61	観 光 文 化 部
	○ 競技力向上の推進		P.62	ス ポ ー ツ 振 興 局
	○ 一人一スポーツの推進		P.62	ス ポ ー ツ 振 興 局 外
	○ 障害者のスポーツ活動・文化芸術活動等の充実		P.63	ス ポ ー ツ 振 興 局 外
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		1,468 百万円	
	前年度までの事業費		1,002 百万円	
	本年度の事業費		466 百万円	

	(成果指標に関連する) 施策名		(成果指標担当部局名)		
	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
成 果 指 標 の 達 成 状 況	2-3-2 文化財の次世代への継承とまちづくりや地域振興への活用		(観光文化部)		
	文化財保存活用地域計画策定市町村数	0市町村 (H30)	7市町村 (R 4)	1市 (R 3)	14.3
	2-3-3 競技力向上の推進		(スポーツ振興局)		
	若手指導者を育成・強化している競技団体の割合	24.4% (H30)	84.8% (R 4)	56.1% (R 3)	52.5
	2-3-4 一人一スポーツの推進		(スポーツ振興局)		
	(過去1年間の) スポーツ未実施率	20.3% (H30)	12.0% (R 4)	18.6% (R 3)	20.5
	2-3-5 障害者のスポーツ活動・文化芸術活動等の充実		(福祉保健部)		
	障害者文化展(障害者文化芸術フェスティバルの部門事業)への出展作品数	1,144点 (H30)	1,170点 (R 4)	828点 (R 3)	△1,215.3

# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
文化芸術の総合的な振興  【文化振興・文化財課】 ①②③④⑤	芸術文化振興費 ( 200,297) 92,125 [ 93,865] ①②③  美術館費 ( 70,850) 67,694 ④⑤  文学館費 ( 19,370) 15,406 ④⑤  博物館費 ( 59,013) 55,586 ④⑤  考古博物館費 ( 11,742) 10,841 ④⑤	心豊かな県民生活及び活力ある地域社会の実現並びに地域の活力の向上に寄与するため、新しい生活様式に対応しながら、やまなし県民文化祭の開催など、文化芸術の振興に関する施策を推進した。県立美術館などの文化施設では、感染症対策を実施した上で企画展の開催や教育普及事業の実施、展望環境の充実を図るなど、県民が文化芸術に親しむ機会を提供した。 これにより、文化芸術の総合的な振興に寄与した。 ①やまなし県民文化祭の開催(部門別フェスティバル) 令和3年8月～令和4年2月 実施回数16回 参加者9,896人 ②芸術劇場の開催 令和3年6月～令和4年1月 実施回数5回 ③やまなしメディア芸術アワードの開催 令和3年7月～令和4年2月 県内外から159作品の応募 ④企画展・特別展の開催 10回 観覧者数101,765人 ⑤教育普及事業 年間合計589回 参加者35,837人
文化財の次世代への継承とまちづくりや地域振興への活用  【文化振興・文化財課】 ①②③④	文化財保護費 ( 127,017) 113,025 ①②③④	文化財の次世代への継承と地域振興などへの活用を図るため、令和2年3月に策定した文化財保存活用大綱に基づく地域の取り組みを支援した。 これにより、地域における文化財の計画的な保存と活用の推進に寄与した。 ①文化財保存活用地域計画策定市町村 国認定1市、策定中3市 ②文化財新任職員等研修会 1回 ③市町村埋蔵文化財専門職員等研修 12回 ④指定文化財を保存するための修繕等に対する助成 78件

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
競技力向上の推進  【スポーツ振興課】 ①②③	体 育 振 興 費 ( 113,559) 95,923  ①②	競技人口の増加と競技力の向上を図るため、小中学生の選手の発掘と育成を行った。 また、若手指導者に対し、公認スポーツ指導者資格の取得を促した。 更に、県有スポーツ施設の整備・改修に向け検討を行った。 これにより、将来の活躍が期待されるジュニア選手の育成と指導者の資質向上に寄与した。 ①ジュニア選手の発掘・育成に関する取り組み支援 発掘事業                    21 競技団体 延べ 103 回 育成練習会                27 競技団体 延べ 571 回 ②公認スポーツ指導者資格の取得支援 23 競技団体 35 人 ③他県のスポーツ施設の事例について調査
一人一スポーツの推進  【スポーツ振興課】 ①②③④ 【保健体育課】 ⑤⑥⑦	体 育 振 興 費 ( 12,590) 8,617  ①②③④⑤⑥ ⑦	若年期から高齢期までライフステージに応じた生涯スポーツを推進するため、一人一スポーツを実現に向けた取り組みを進めた。 また、市町村や学校、民間のスポーツクラブなどと協力して、身近な地域でスポーツに参加できる機会の創出を図った。 これにより、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に寄与した。 ①一人一スポーツを実現する具体的方策を検討する山梨県スポーツ推進審議会を開催                    3 回 ②広域スポーツセンターを設置し、総合型地域スポーツクラブの設立・運営の支援 市町村訪問 令和3年10月～11月 ③やまなし総合型クラブフェスタ                    令和3年11月 ④やまなしスポーツ情報ネットの運用による情報発信 ⑤県立学校体育施設開放事業                    参加者 9,613 人 ⑥目指せやまなしチャンピオン事業            参加校 23 校 ⑦もっと楽しい体育事業で体力アップ事業 参加校 37 校

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
障害者のスポーツ活動・文化芸術活動等の充実  【スポーツ振興課】 ①②③④ 【障害福祉課】 ⑤⑥⑦⑧	社会福祉費 ( 2,647) 2,271 ①②③④  社会福祉総務費 ( 4,346) 4,100 ⑤⑥⑦⑧	<p>障害のある方が心豊かに生きがいをもって生活できるようにするため、感染防止対策を徹底した上で、障害者スポーツの普及・啓発、文化芸術活動の推進を図った。</p> <p>これにより、障害のある方がスポーツ、芸術、文化活動に参加する機会の充実が図られた。</p> <p>①障害者スポーツ大会開催（4日間） 参加者合計 541人</p> <p>②障害者スポーツ指導員等派遣 48回派遣 参加者合計 769人</p> <p>③障害者スポーツ交流教室 18回開催 参加者合計 517人</p> <p>④障がい者スポーツ指導員養成講習会 受講 10人</p> <p>⑤障害者文化展の開催 地域展（国中） 令和3年9月 地域展（富士・東部） 令和3年10月 総合展 令和3年11月 出展作品合計 828作品</p> <p>⑥障害者芸術・文化祭の開催 令和3年11月 参加団体 26団体</p> <p>⑦舞台発表鑑賞会 令和3年11月</p> <p>⑧いえなか美術館の開催 16箇所 延べ166作品</p>